

李前総統が来日、亡兄まつる靖国神社に参拝の意向

台湾の李登輝前総統(84)が30日午後、中華航空機で成田空港に到着した。

李氏の訪日は2004年12月以来で、総統退任後は3度目。

6月9日までの滞在中、松尾芭蕉の「奥の細道」のゆかりの地などを訪ねる。今回の来日では初めて講演と記者会見を行うほか、政財界関係者とも交流する。

また、李氏は機内で日本人記者団と懇談し、李氏の兄がまつられている靖国神社について、「行かないのは人情として、弟としても忍びない」と述べ、私的に参拝する意向を示した。靖国神社問題に神経をとがらす中国を逆なですることにもなり、強い反発を呼び起こすことは必至だ。

(2007年5月30日14時38分 読売新聞)

<http://www.yomiuri.co.jp/world/news/20070530i107.htm>